

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月18日

計画の名称	地域の災害リスクを低減させる道づくり（市町村）（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	都城市, 小林市, 三股町, 綾町													
計画の目標	国土強靱化地域計画に基づき、地域の交通・輸送を支え、災害時でも機能する道路ネットワークを構築する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		745	A	745	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和3年度		令和5年度
1	道路整備等により、安全かつ円滑に通行できる区間の改良率を向上させる。 大型車両走行困難箇所の道路改良率 大型車両走行困難箇所の是正数／大型車両走行困難箇所×100	0%	%	40%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化地域計画A1, A2, A3, A4, A5にしろ定住自立圏共生ビジョンA2												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	都城市	直接	都城市	市町村 道	改築	(他)丸岡440号線・1工区	現道拡幅 L=0.30km	都城市	■	■	■			190		－	
	A01-002	道路	一般	小林市	直接	小林市	市町村 道	改築	(1)東麓石瀬戸線・3工区	現道拡幅 L=0.39km	小林市	■	■	■			185		－	
	A01-003	道路	一般	三股町	直接	三股町	市町村 道	改築	(2)島津紅茶園切寄線・1 工区	現道拡幅 L=0.50km	三股町	■	■	■			125		－	
	A01-004	道路	一般	綾町	直接	綾町	市町村 道	改築	(1)八日町・尾原線・八日 町工区	現道拡幅 L=0.43km	綾町	■	■	■			129		－	
	A01-005	道路	一般	小林市	直接	小林市	市町村 道	改築	(他)一本杉・川無線・1 工区	現道拡幅 L=0.10km	小林市		■	■			116		－	
											小計						745			
											合計							745		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<div>事後評価の実施体制</div> <div>宮崎県県土整備部管理課及び宮崎県県土整備部道路保全課</div>	<div>事後評価の実施時期</div> <div>令和6 年度</div> <div>公表の方法</div> <div>宮崎県ホームページ</div>
--	--

○事業効果の発現状況

<div>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</div>	<div>道路改良率が上がることにより、安全かつ円滑な通行ができるようになったことから、災害発生時に迅速な救命・救援活動が可能になるネットワークが構築され防災機能が高まった。</div>
<div>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</div>	

○特記事項（今後の方針等）

<div>今後も改良率を上げ、安全かつ円滑な通行を確保し道路ネットワークの構築に取り組む。</div>
---

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	最 終 目標値	40%	補正予算を活用しながら事業の進捗を図れたため。
	最 終 実績値	42%	